

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和4年度取組結果】

団体名	株式会社 北九州ウォーターサービス
-----	-------------------

所管課	上下水道局 経営企画課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>水道及び下水道事業に関する専門技術とノウハウ、公民協働体制の利点を最大限に発揮しながら、上下水道局の補完的役割を担うパートナー事業者として、市の水道事業及び下水道事業の効率的かつ安定的な運営に寄与するとともに、水道事業の広域化や海外水ビジネスなどの推進に貢献する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>運営について、市の政策の一翼を担い、市が直接担うより効果的かつ効率的な事業運営ができ、民間委託等でできない、または適さないという役割に照らして妥当であるか、絶えず見直しを行う。</p>

ミッションに基づく中期計画									
3～5年後に 目指す状態	<p>公民共同企業体としての強みを最大限に発揮することで、上下水道事業運営の新しい担い手となり、民間企業の多様な顧客ニーズに応えるための、企画力・マーケティング力を活用し地域にこだわらない事業展開を目指す。</p>								
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）								
	H30	R1	R2	R3	R4		R5	R6	
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標	
上下水道施設運転管理等の無事故	0	0	0	0	0	1	0	0	
当期純利益（百万円）	23	35	40	117	34	132	50	36	
収益に占める市受託事業以外の収益額（百万円）	95	104	77	84	97	93	110	131	

ミッションの遂行状況の評価（令和4年度）			
団体における 評価	<p>中核事業である市内の浄水場や浄化センターの運転管理等業務などの市からの受託事業を着実に履行するとともに、広域連携事業にかかる宗像地区水道施設維持管理等業務についても順調に履行した。</p> <p>海外事業では、令和3年度に北九州市海外水ビジネス推進協議会会員とともに受注したカンボジア国での「タクマウ上水道拡張計画」に着手した。また、タジキスタン国では、新たに給水改善計画の準備調査を実施した。</p> <p>これらのことから、上下水道局の補助的役割を担うパートナー事業者として、市の水道事業及び下水道事業の効率的かつ安定的な運営に寄与することができたものと認識している。</p>	市の評価	<p>局の上下水道事業運営に関する補完的役割は、十分に果たしており、当期純利益も目標を大きく上回る額を確保できたことは、一定の評価ができる。</p> <p>しかし、上下水道施設の運転管理等に直接影響はなかったものの、令和4年度は労働災害が1件発生したため、同様の事故が起きないように今一度安全管理を徹底するように指導を行った。</p>
	今後の 課題及び 見直し 内容 (案)		<p>市内事業は堅調推移のため現行体制を維持する。</p> <p>広域事業および海外水ビジネス事業については、引き続き局との連携を強化し、宗像地区事務組合における水道事業の継続的な受注のほか、様々な事業に積極的に取り組み、さらなる自主事業の拡大を図る。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	－
<p>重要なライフラインである上下水道施設の運転を最も安全に遂行する体制を備えるとともに、市が推進する広域化や海外水ビジネスにおいて一定の成果をあげるなど、市が直接担うより効果的かつ効率的な事業運営ができている。</p>	

ミッションに基づく具体的取組み（令和4年度）										
1	目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）				
	上下水道局の補完的役割を担うパートナー事業者として、市受託事業の安全・確実な業務遂行を果たす。					①上下水道技術の継承・発展に資する社内研修会を開催する。 ②上下水道施設の維持管理に必要な知識や技術を習得するため、社外研修や資格研修を受講する。 ③上下水道技術を継承し、市受託事業の確実な業務遂行を果たすために、若年層の採用を行う。				
	成果指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
	① 上下水道施設運転管理等の無事故	0	0	0	1	① 社内研修会の実施件数	50回	33回	43回	35回
					② 社外研修及び資格研修の受講人数	31人	36人	104人	60人	
					③ 固有社員の採用	3人	3人	3人	5人	
2	目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）				
	専門技術やノウハウを駆使するとともに、公民協働体制の利点（技術力・創造性・柔軟性）を発揮し売上、利益を確保する。					パートナー事業者としての安全・確実な業務履行により既存市受託事業の継続を維持するとともに、新規業務の受注を目指す。併せて、業務体制の効率的かつ適正化を図る。				
	成果指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
	① 当期純利益（百万円）	40	117	34	132	① 収入/社員数（百万円）	7.4	7.9	7.4	8.1
					② 支出/社員数（百万円）	7.1	7.5	7.3	7.5	
					③ 社員数	250人	244人	250人	247人	
3	目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）				
	専門技術やノウハウを駆使するとともに、公民協働体制の利点（技術力・創造性・柔軟性）を発揮し、収益的事業の展開による経営を強化する。					①積極的な営業活動により広域事業の開拓を図る。 ②海外水ビジネス推進協議会や関係省庁のPPP推進会議や海外支援組織の活動を通じ、海外水ビジネスを積極的に展開する。				
	成果指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
	① 収益に占める市受託事業以外の収益額（百万円）	77	84	97	93	① 近隣都市への働きかけ（局と連携した勉強会等への参加）勉強会参加回数	1	3	4	14
					② GCUS等の活動への参加	1	3	2	4	
					③ 海外水ビジネス件数（新規）	0	5	2	2	